

# まちの話題



5月27日(日)

## いざという時のために 水防訓練

大雨や台風などによる水害を想定した水防訓練が行われ、稗田川沿いに住む市民の皆さんや消防団、市職員などが参加しました。訓練会場では、水や土砂の浸入を防ぐために用いる「土のう」の作り方を消防団員が実演。市民の皆さんだけでなく、新入団員も積み上げ方の訓練を行い、いざという時のための知識を学ぶ場となりました。



6月6日(水)

## 自転車を安全に乗ろう!

高浜市交通安全指導員の皆さんが、毎年、小学校に出向き交通安全の講話や指導を行っています。港小学校では、3年生が自転車での踏み切りの渡り方や標識の見方など、安全に道路を走るためのルールを学びました。

もうすぐ夏休み、正しく安全に自転車に乗ってたくさん遊びに出かけてください。



6月6日(水)

## 菊づくりの伝統文化を子どもたちへ

吉浜地区の伝統文化、菊人形。毎年子どもたちが行う菊づくりに先駆け、菊人形の歴史や技法、吉浜に菊人形や菊づくりが根付いた経緯などを、吉浜まちづくり協議会伝統文化グループが吉浜小学校の4年生を対象に出前授業を行いました。

この日学んだ知識を生かして、子どもたちはきっと大輪の菊を咲かせることができるでしょう。育てた菊は、11月の菊まつりで飾られます。ぜひご覧ください。



6月16日(土)

## 蛍の舞う夜をもう一度

昔はあちこちで見られた蛍の乱舞。「あの風景をもう一度取り戻したい」と、神楽山ホタル会が奮闘しています。今年度完成する神楽山遊歩道で蛍の飛翔を復活させるという目標を胸に、清水町集会場に「ホタルのお宿」を建てて365日休むことなく蛍の飼育を続けています。幼虫の多くが冬を越せずに死んでしまうなど苦難も続きますが、少しずつ成虫になり、飼育箱の中で淡い光を放っています。

会長の鈴木文夫さんは、「今年は5千匹の幼虫をつくり、来年飛翔させるのが目標です。」と話してくださいました。

